

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 01 雇用の創出と雇用環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
労働者 企業	雇用が創出されるとともに、労働者の福利厚生が充実しています。

施策の成果状況と評価

指標①	有効求人倍率（年平均）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	倍	1.07	0.93	1.06	→
評価	<p>（状況）有効求人倍率（年平均）は1.06倍となっており、前年度と比較すると0.13ポイント増加していますが、総合計画基準値（H28）と比較すると0.01ポイント減少しています。</p> <p>（原因）令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とともに、経済の停滞や先行きの不透明感から企業の求人数が減少しましたが、令和3年度は、ワクチン接種などの感染対策の効果により企業の求人数が回復傾向にあることが原因と考えられます。</p>						目標 達成度

指標②	雇用保険受給者実人数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【商工課】	人	5,537	6,074	5,379	→
評価	<p>（状況）雇用保険受給者実人数は、5,379人となっており、前年度と比較すると695人減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると158人減少しています。</p> <p>（原因）令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所からの離職者が大きく増加しましたが、令和3年度は、雇用調整助成金の特例措置の延長などにより、事業所からの離職者が抑えられたことが要因と考えられます。</p>						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進
基本事項 02 雇用の確保
基本事項 03 労働者福利厚生の実施

基本事項01 企業誘致の推進

指標①	市内立地企業数（累計）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	社	3	9	9	9	---
評価	<p>(状況) 県工業開発条例に基づく新設の工場数は前年度から変更ありませんが、総合計画基準値 (H28) と比較すると6社増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の景況が不安定であったことから、新たな企業の進出がなかったと考えられます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項01 企業誘致の推進

指標②	市内立地企業による雇用数（累計）（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	38	221	221	114	---
評価	<p>(状況) 県工業開発条例に基づく新設の工場設置に伴う雇用数は、前年度から変更ありませんが、総合計画基準値 (H28) と比較すると183人増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の景況が不安定であったことから、立地企業による雇用が創出されなかったと考えられます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項02 雇用の確保

指標①	市主催就職支援事業による就職者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	33	6	1	37	---
評価	<p>(状況) 市主催就職支援事業による就職者数は1人で、前年度と比較すると5人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると32人減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 雇用のミスマッチや新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による企業の採用意欲が低下したことなどが要因と考えられます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項02 雇用の確保

指標②	ハローワーク須賀川における就職率（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	%	40.1	36.6	35.0	→	---
評価	<p>(状況) ハローワーク須賀川における就職率は35.0%で、前年度と比較すると1.6ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると5.1ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、経済の停滞や先行きに不透明感が出てきたことから企業の採用意欲が低下したことが要因と考えられます。</p>						目標達成度
		---					

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 企業誘致の推進
基本事項 02 雇用の確保
基本事項 03 労働者福利厚生の充実

基本事項03 労働者福利厚生 of 充実

指標①	勤労者互助会の加入者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	221	199	195	250	---
評価	<p>(状況) 勤労者互助会の加入者数は195人で、前年度と比較すると4人減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると26人減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、企業の採用が低調だったことが主な要因と考えられます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項03 労働者福利厚生 of 充実

指標②	勤労者福利厚生施設利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	14,594	4,306	9,759	19,000	---
評価	<p>(状況) 勤労者福利厚生施設利用者数は9,759人で、前年度と比較して5,453人の増加となっていますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると4,835人減少し、順調ではありません。</p> <p>(原因) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による貸館利用制限が緩和され労働福祉会館の利用者は増加に転じましたが、一方で対象施設である勤労青少年ホームが令和元年度をもって廃止されたことにより利用者数の総数が減少したものと考えられます。</p>						目標達成度
		---					

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 02 農林業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
農業者	農業経営の効率化により、農業所得の安定・向上が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	1戸当たりの農業所得（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【農政課】	千円	563	362	384	→
評価	<p>(状況) 1戸当たりの農業所得は384千円で、前年度と比較すると22千円増加していますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると179千円減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 本市農業は水稻が中心であるため、米の価格や収穫量が農業所得へ大きな影響を及ぼします。令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響による米消費低迷などを要因とした米価の下落や、令和3年4月の降霜被害による農作物の価格・生産量の低下などにより、農業所得の向上が図られていないと考えられます。</p>	<p>(千円)</p>					<p>---</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>

指標②	農産物の売上高 (JA)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【農政課】	百万円	4,453	4,960	4,623	→
評価	<p>(状況) 農産物の売上高 (JA) は4,623百万円で、前年度と比較し、337百万円減少しておりますが、総合計画基準値 (H28) と比較し170百万円増加しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による米価の下落や、霜や降ひょうなど農作物被害の影響により、売上高が減少したものと考えられます。</p> <p>基準値より増加している理由は、農業生産法人の増加に伴い売上高全体が増加しているものと考えられます。</p>	<p>(百万円)</p>					<p>☀</p> <p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な担い手の育成・確保
基本事項 02 農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03 農業経営の安定確保
基本事項 04 特産農産物の生産振興
基本事項 05 特産農産物の販売促進

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標①	認定農業者率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	7.4	7.0	6.8	9.3	(低下)
評価	基準値は、2015 (H27) 年に取得した数値です。						目標達成度
	<p>(状況) 認定農業者率は6.8%で、前年度と比較すると0.2ポイント減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると0.6ポイント減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 国・県の各種施策は、認定農業者を対象要件とする方向に転換してきており、経営の規模拡大等を目指す意欲的農業者は、認定農業者の認定を受け、農業所得の向上を目指しています。一方で、高齢化や後継者がいないことで、経営規模の維持・縮小を考えている農業者が多くなってきていることが、認定農業者率の低下につながっていると考えられます。</p>						(低)

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標②	担い手への農地利用集積面積 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	1,865.0	3,238.1	3,417.6	2,200.0	(向上)
評価							目標達成度
	<p>(状況) 担い手への農地利用集積面積 (累計) は3,417.6haで、前年度と比較して179.5ha増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1,552.6ha増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 規模縮小や離農する農家から経営規模の大きい個人、団体への集積が進んできていると考えられます。</p>						(達成)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標①	耕作放棄地面積 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	482	549	473	458	(横ばい)
評価							目標達成度
	<p>(状況) 耕作放棄地面積 (累計) は473haで、前年度と比較すると76ha減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると9ha減少しています。</p> <p>(原因) 耕作放棄地面積は、これまで農林業センサス (農家の申告による主観ベース) の数値を使用してきましたが、農林業センサスでは耕作放棄地を集計しなくなったことから、農業委員会が把握している数値へ切り替えたことにより、結果的に減少しましたが、中山間地域などをはじめ、農業従事者の高齢化や担い手不足に伴い、耕作放棄地は増加するものと考えられます。</p>						(低)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標②	基盤 (ほ場) 整備率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	48.9	50.4	50.5	50.3	(向上)
評価							目標達成度
	<p>(状況) 基盤 (ほ場) 整備率は50.5%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると1.6ポイント増加しており、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 県営土地改良事業を行っている「前田川地区」が完了したことと、「森宿地区」の整備が順調に進んでいるためです。</p>						(達成)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標③	農村環境保全取組面積率	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	%	40.4	45.1	45.8	43.7	(向上)
評価	(状況) 農村環境保全取組面積率が45.8%で、前年度と比較すると0.7ポイント増加しました。総合計画基準値 (H28) と比較すると5.4ポイント増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 活動組織数は、平成28年度の39組織から44組織に増加しています。前年度より1組織増加したことにより、取組面積が増加したものと考えられます。						目標達成度 (達成)

基本事項02 農林業生産環境の整備・保全

指標④	各種補助により生産施設等を整備した件数 (累計)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	件	18	46	71	38	(向上)
評価	(状況) 各種補助による生産施設等を整備した件数 (累計) は71件で、前年度と比較すると25件増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 県補助事業を活用し、イチゴハウス栽培用のLED照明装置など2件、パイプハウス資材20件、ぶどう用雨除けハウスが3件導入されたことが要因と考えます。						目標達成度 (中)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標①	水田フル活用推進助成金の交付対象者数 (延べ人数)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	562	303	442	620	(低下)
評価	(状況) 水田フル活用推進助成金の交付対象者数 (延べ人数) は442人で、前年度と比較すると139人増加していますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると120人減少しており、順調ではありません。 (原因) 平成30年度から米の生産数量調整目標値が廃止されたことや米価の状況に伴い、減少したものと考えられます。なお、対象者あたりの取組面積は増加しています。						目標達成度 (低)

基本事項03 農業経営の安定確保

指標②	収入減少対策に加入している農家数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	人	274	253	280	300	(横ばい)
評価	(状況) 収入減少対策に加入している農家数は280人で、前年度と比較すると27人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較すると6人増加しており、加入者は増加してきています。 (原因) 近年頻発している台風や霜、ひょうなどの自然災害に対する農家の危機意識の変化や、令和3年度から実施している市独自の加入対策の成果が表れていると考えられます。						目標達成度 (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産環境の整備・保全
基本事項 03	農業経営の安定確保
基本事項 04	特産農産物の生産振興
基本事項 05	特産農産物の販売促進

基本事項03 農業経営の安定確保

指標③	キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	ha	27.4	49.3	49.3	30.0	☀ (向上)
評価	(状況) キュウリ、ナスの病害虫防除面積（市補助事業による防除面積）は49.3haで、前年度と比較すると同数であり、総合計画基準値（H28）と比較すると21.9ha増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 平成29年度から開始したネコブセンチュウ対策の周知が図られ、病害虫防除対策をする農業者は、前年度とほぼ同じ面積を防除したためです。						☀ (向上)
							☀ (向上)

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標①	代表的な産地指定農産物キュウリのJA出荷量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	t	5,380	4,962	5,099	→	☂ (低下)
評価	(状況) 代表的な産地指定農産物キュウリのJA出荷量は5,099tで、前年度と比較すると137t増加していますが、総合計画基準値（H28）と比較すると281t減少しており、減少傾向にあります。 (原因) 高齢化による農家戸数・作付面積の減少などが出荷量減少の要因と考えられます。						☂ (低下)
							☂ (低下)

基本事項04 特産農産物の生産振興

指標②	代表的な特産農産物日本ナシのJA出荷量	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	t	1,200	684	580	→	☂ (低下)
評価	(状況) 代表的な特産農産物日本ナシのJA出荷量は580tで、前年度と比較すると104t減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると620t減少しており、順調ではありません。 (原因) 高齢化や後継者不足により樹園地が減少傾向にあるうえ、令和3年度は霜被害や降ひょうにより、大規模な被害を受けたことが要因と考えられます。						☂ (低下)
							☂ (低下)

基本事項05 特産農産物の販売促進

指標①	代表的な産地指定農産物キュウリのJA販売額	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【農政課】	百万円	1,563	1,801	1,433	→	☂ (低下)
評価	(状況) 代表的な産地指定農産物キュウリのJA販売額は1,433百万円で、前年度と比較すると368百万円減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると130百万円減少しており、減少傾向にあります。 (原因) JA販売額は、前年度から減少しており、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外食需要の減少により、販売単価が下落したことが要因と考えられます。						☂ (低下)
							☂ (低下)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 多様な担い手の育成・確保
- 基本事項 02 農林業生産環境の整備・保全
- 基本事項 03 農業経営の安定確保
- 基本事項 04 特産農産物の生産振興
- 基本事項 05 特産農産物の販売促進

基本事項05 特産農産物の販売促進

	代表的な特産農産物日本ナシのJA販売額	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標の うごき																																								
指標②	【農政課】	百万円	282	324	207	➔	☔ (低下)																																								
評価	<p>(状況) 代表的な特産農産物日本ナシのJA販売額は207百万円で、前年度と比較すると117百万円減少し、総合計画基準値(H28)と比較すると75百万円減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 高齢化や後継者不足により樹園地が減少傾向にあるうえ、令和3年度は霜被害や降ひょう被害により、出荷量が大幅に減少したことが要因と考えられます。</p>	<table border="1" style="display: none;"> <caption>販売額推移 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>基準値 (H28)</th> <th>実績値 (R02)</th> <th>実績値 (R03)</th> <th>目標値 (R04)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>282</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>285</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>285</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>-</td> <td>280</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>324</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>207</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>360</td> </tr> </tbody> </table>					年度	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	H28	282	-	-	-	H29	-	285	-	-	H30	-	285	-	-	R01	-	280	-	-	R02	-	-	324	-	R03	-	-	207	-	R04	-	-	-	360	目 標 達 成 度  ■■■ (低)
年度	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)																																											
H28	282	-	-	-																																											
H29	-	285	-	-																																											
H30	-	285	-	-																																											
R01	-	280	-	-																																											
R02	-	-	324	-																																											
R03	-	-	207	-																																											
R04	-	-	-	360																																											

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内商工業事業所	市内商工業の振興が図られています。

施策の成果状況と評価

指標①	経営状況が良いと感じている事業所の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	%	18.1	8.3	17.7	→	
評価	<p>(状況) 経営状況が良いと感じている事業所の割合は17.7%で、前年度と比較すると9.4ポイント増加しました。また、総合計画基準値(H28)と比較すると0.4ポイント減少しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるものと考えられます。</p>					目標達成度	

指標②	収益が増加した事業所の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	%	18.9	9.2	20.1	→	
評価	<p>(状況) 収益が増加した事業所の割合は20.1%で、前年度と比較すると10.9ポイント増加し、総合計画基準値(H28)と比較すると1.2ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により大幅に落ち込んだ令和2年度に比べ、令和3年度は回復傾向となったため、増加したと考えられます。</p>					目標達成度	

指標③	雇用調整を実施した事業所の割合（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	%	6.2	16.7	17.2	→	
評価	<p>(状況) 雇用調整を実施した事業所の割合は17.2%で、前年度と比較すると0.5ポイント増加しました。また、総合計画基準値(H28)と比較すると11.0ポイント増加しており、順調ではありません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるものと考えられます。</p>					目標達成度	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 商業の振興
基本事項 02 工業の振興
基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項01 商業の振興

指標①	市内卸売・小売業年間売上高	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	百万円	131,450	-	-	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						目標達成度
	(状況) 成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和4年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けていることが懸念されます。						

基本事項01 商業の振興

指標②	市内卸売・小売業事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	店	623	-	-	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						目標達成度
	(状況) 成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和4年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けていることが懸念されます。						

基本事項01 商業の振興

指標③	市内卸売・小売業事業所従業員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	4,355	-	-	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						目標達成度
	(状況) 成果指標は、商業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和4年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けていることが懸念されます。						

基本事項02 工業の振興

指標①	市内製造品出荷額等	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	百万円	172,527	162,741	-	➔	
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						目標達成度
	(状況) 成果指標は、工業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和4年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けていることが懸念されます。						

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 商業の振興
基本事項 02 工業の振興
基本事項 03 中心市街地の活性化

基本事項02 工業の振興

指標②	市内工業事業所数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	社	172	163	-	➔	---
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						目標達成度
	(状況) 成果指標は、工業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和4年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けていることが懸念されます。						---

基本事項02 工業の振興

指標③	市内工業事業所従業員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人	6,964	6,729	-	➔	---
評価	基準値は、2014 (H26) 年に取得した数値です。						目標達成度
	(状況) 成果指標は、工業統計調査及び経済センサス活動調査に基づき取得していますが、令和4年12月時点で公表されていないため、実績値を取得することができません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けていることが懸念されます。						---

基本事項03 中心市街地の活性化

指標①	市内中心部における平日歩行者通行量 (参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	人/日	2,026	2,382	2,319	2,700	---
評価	(状況) 市内中心部における平日歩行者通行量は2,319人で、前年度と比較すると63人減少していますが、総合計画基準値 (H28) と比較すると293人増加しています。なお、休日における歩行者通行量は前年度と比較すると879人増の3,871人で、中心市街地活性化基本計画基準値 (H30) と比較すると1,911人増加しています。						目標達成度
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、市庁舎の開庁や市民交流センター、風流のはじめ館の開館などにより、中心市街地への来街者数が一定程度保たれたものと考えられます。						---

基本事項03 中心市街地の活性化

指標②	商店会等加盟店舗数 (参考値)	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【商工課】	店舗	161	160	151	165	---
評価	(状況) 商店会等加盟店舗数は151店舗で、前年度と比較すると9店舗減少し、総合計画基準値 (H28) と比較すると10店舗減少しており、順調ではありません。						目標達成度
	(原因) 高齢化による後継者問題や新型コロナウイルス感染症の影響により休業する店舗があるためです。						---

政策 05 活力とにぎわいあふれるまちづくり

施策 04 観光振興と交流促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
須賀川市に訪れる人	須賀川市を訪れ滞在する人が増加します。

施策の成果状況と評価

指標①	平日14時に本市に滞在していた人数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【観光交流課】	人	56,786	56,582	54,816	58,500	---
評価	<p>（状況）国の地域経済分析システム（RESAS）によると、平均滞在人口（4月～6月平均）は54,816人です。なお、総合計画基準値（H28）は1年間の平均、H29年度からH30年度までの実績値は4月から8月の平均です。</p> <p>県外からの来訪者（4月～6月の累計人数）は、上位順に、宮城県679人（R2:583人⇒96人増）、東京都506人（R2:381人⇒125人増）、栃木県465人（R2:347人⇒118人増）、埼玉県350人（R2:302人⇒48人増）、神奈川県312人（R2:218人⇒94人増）となっています。</p> <p>（原因）新型コロナウイルス感染症対策が進んだことにより、県外からの来訪者は増えたものの、市外へ移動した市民も増えたと推測され、平均滞在人口は横ばいになったと考えられます。</p>	(人)				目 標 達 成 度	
						---	

指標②	休日14時に本市に滞在していた人数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標の うごき
	【観光交流課】	人	58,598	59,046	58,517	60,400	---
評価	<p>（状況）国の地域経済分析システム（RESAS）によると、平均滞在人口（4月～6月平均）は58,517人です。なお、総合計画基準値（H28）は1年間の平均、H29年度からH30年度までの実績値は4月から8月の平均です。</p> <p>県外からの来訪者（4月～6月の累計人数）は、上位順に、東京都683人（R2:465人⇒218人増）、宮城県634人（R2:509人⇒125人増）、栃木県586人（R2:366人⇒220人増）、埼玉県542人（R2:399人⇒143人増）、神奈川県452人（R2:226人⇒226人増）となっています。</p> <p>（原因）新型コロナウイルス感染症対策が進んだことにより、県外からの来訪者は増えたものの、市外へ移動した市民も増えたと推測され、平均滞在人口は横ばいになったと考えられます。</p>	(人)				目 標 達 成 度	
						---	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光誘客の推進
基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進
基本事項 03 空港利活用の促進
基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項01 観光誘客の推進

指標①	観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	1,235,234	782,400	962,149	1,500,000	---
評価	<p>(状況) 観光庁策定「観光入込客統計に関する共通基準」に係る観光入込客数は962,149人で、前年度と比較し179,749人増えましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると273,085人減と大幅に減少しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症対策が進んだことにより、観光需要が一部回復したため、前年度より観光入込客が増加しましたが、釈迦堂川花火大会や松明あかしなどの大規模イベントが規模縮小となったため基準値 (H28) まで回復できませんでした。</p>						目標達成度
		---					

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標①	都市間交流補助事業の活用団体数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	団体	3	1	1	8	---
評価	<p>(状況) 都市間交流補助事業の活用団体数は1団体で、前年度と比較し同数となり、総合計画基準値 (H28) と比較し2団体減少しました。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により市民レベルでの交流事業が実施困難な状況となったためです。</p>						目標達成度
		---					

基本事項02 都市間交流・国際交流の推進

指標②	国際交流に関心がある市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	%	42.2	42.7	-	→	---
評価	<p>(状況) 国際交流に関心のある市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値は取得できていません。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、福島空港において国際チャーター便の運行がないほか、外国人旅行者の来訪がないため、外国人との交流に対する市民の関心度も高まっているものと推測されます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項03 空港利活用の促進

指標①	福島空港の利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	247,706	68,355	97,250	→	---
評価	<p>(状況) 福島空港の利用者数は97,250人で、前年度と比較し28,895人増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると150,456人減少し、引き続き低調な利用者数となりました。</p> <p>搭乗率で見ると、札幌便が36.8%から38.5%に、大阪便が46.9%から46.1%に、それぞれ横ばいの状況が続いています。チャーター便については、国内線が24便から38便に増加しましたが、国際線は前年度同様に0便となりました。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国際線の運休や国内定期路線の減便が続いていることが、利用者数の大幅な減少の要因と考えられます。</p>						目標達成度
		---					

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 観光誘客の推進
基本事項 02 都市間交流・国際交流の推進
基本事項 03 空港利活用の促進
基本事項 04 観光施設の適切な維持管理

基本事項03 空港利活用の促進

指標②	本市事業を活用した福島空港利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	493	12	34	700	---
評価	<p>(状況) 本市事業を活用した福島空港利用者数は34人で、前年度と比較し22人増加しましたが、総合計画基準値 (H28) と比較すると459人減少しました。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国際線の運休や国内定期路線の減便が続いているほか、都道府県間の往来を自粛したことが、利用者数の大幅な減少の要因と考えられます。</p>						目標達成度
		---					

基本事項04 観光施設の適切な維持管理

指標①	観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数（参考値）	単位	基準値 (H28)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【観光交流課】	人	84,610	95,284	128,313	95,000	---
評価	<p>(状況) 観光施設の指定管理者制度導入施設利用者数は128,313人で、前年度と比較し33,029人増加し、総合計画基準値 (H28) と比較し43,703人増加しており、目標値を達成しています。なお、観光施設の指定管理者導入施設については、4施設となっています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症対策が進んだことにより、観光需要が一部回復したため、各施設の利用者数が増加しましたが、コロナ禍前の令和元年度実績までは回復できませんでした。</p>						目標達成度
		---					